

宮田っ子

臨時号

オンラインゲーム利用の実態

先日、「友達がオンラインゲームをしている動画が、ユーチューブにアップされている」との情報が入りました。実際に見てみると、子供の声や名前が聞こえました。アップしたのは、一緒にゲームしていた知らない人（子供？）ということでした。

このことを受けて、オンラインゲームの実態を調べました。結果は以下のとおりです。

オンラインゲームをしていますか。

	している	したことがある	していない
1年	5	0	12
2年	6	6	20
3年	15	4	8
4年	15	6	10
5年1組	11	6	5
5年2組	12	6	4
6年	12	13	7
計	76	41	66

知らない人とオンラインゲームをしたことがありますか。

	している	したことがある	していない
1年	1	1	15
2年	3	1	28
3年	8	6	13
4年	3	11	17
5年1組	3	3	16
5年2組	2	14	6
6年	3	11	18
計	23	47	113

午後9時以降にオンラインゲームをしていますか。

	している	したことがある	していない
1年	0	0	17
2年	2	0	30
3年	2	7	18
4年	2	7	22
5年1組	0	4	18
5年2組	0	5	17
6年	1	4	27
計	7	27	149

昨年度、県内でオンラインゲームで知り合った人にメールやLINEで名前や住所を教え、トラブルや犯罪に巻き込まれる事案が多数、報告されたこと、小学生や中学生と偽り、相手を安心させ「一度会いたい」「ゲームの話をしよう」などと、連れ出そうとするものもあったことから、宮田小学校では、「お子さんと話をして、実態をつかむとともにルールを決め、知らない人とオンラインゲームをしない約束をしてください」と令和元年度の冬休みのしおりでお願いしました。

しかし、残念なことに、23名の子供たちが常時、知らない人とオンラインゲームをしていると答えています。また「西條中学校区、小学生のスマホ・ネット・ゲームなどのルール」で決められた「午後9時を過ぎたら使いません」については、7名の子供が守られていませんでした。学校での約束が十分に理解されていなかったことがうかがえます。オンラインゲームが子供たちの中で、遊びの一部または中心となっている今、再度子供たちがどのようなオンラインゲームをしているかの実態をつかみ、安全に過ごせるように家庭でルールをつくってください。

オンラインゲームは家庭で行っています。子供が安全に過ごすにはご家庭の協力が必要です。子供を犯罪等に巻き込まれることを防ぐために大事なことです。よろしくお願ひします。